

News Release

2026年9月24日
株式会社プロテリアル

「第十九回お守り刀展覧会」に協賛

株式会社プロテリアル(以下、プロテリアル)は、「第十九回お守り刀展覧会」に協賛しますので、お知らせします。

1.「お守り刀展覧会」について

お守り刀は、古来、目に見えぬ魔から身を守るために所持されてきた短刀です。現代でも、子どもの健やかな成長や持ち主の身を守ることを願い、出産祝いや冠婚葬祭の贈り物として広く活用されています。

お守り刀展覧会は、全国の刀匠・刀職者から募集した作品のうち優秀なものを選んで展示するもので、刀剣に関する伝統技術の継承と向上を図るとともに、日本の伝統工芸の健全な発展に寄与することを目的として 2005 年から開催されています。

- <名 称> 第十九回お守り刀展覧会
- <主 催> 全日本刀匠会、お守り刀展覧会実行委員会、瀬戸内市
- <会 場> 備前長船刀剣博物館(岡山県瀬戸内市)
- <会 期> 2026 年 10 月 3 日(土)~11 月 23 日(月)

2. 協賛の背景

プロテリアルの主力工場である安来工場(島根県安来市)は、古来の製鉄であるたたら製鉄の経営者らが出資して 1899 年に設立した雲伯鉄鋼合資会社を前身としています。当初はたたら製鉄でつくった鍋(けら)、玉鋼、鍛鉄(包丁鉄)などを全国出荷していました。その後もたたら製鉄を応用して生産効率を高めた角炉による生産を始めるなど、現代に至るまで技術を発展させながら、たたら製鉄で培った鉄づくりの精神を引き継いで、世界に誇れる特殊鋼の生産を行っています。

また、プロテリアルの原点の一つであるたたら製鉄の技術と文化を継承していくために、公益財団法人 日本美術刀剣保存協会が主催する日刀保たたら操業を 1977 年(当時は日立金属株式会社)から支援しており、日本刀の材料である玉鋼の生産に貢献しています。

このような背景がある中で、玉鋼を材料として日本伝統美術工芸の粋を集めて製作されてきたお守り刀の伝統技術の継承と向上を願い、お守り刀展覧会に協賛しています。

3.「第十九回お守り刀展覧会」協賛内容

- ・最優秀作品へのプロテリアル賞*授与
- ・運営費協力

なお、プロテリアルは、本展覧会の開催に合わせて、岡山駅および倉敷駅に広告を掲出します。

*プロテリアル賞:重要無形文化財保持者を除く、審査員・招待出品を含む全作品の内、特に優秀な作品を 1 点表彰する。
投票は出品審査員を除く全審査員の投票により行われる。

以上

【報道機関からのお問い合わせ】コミュニケーション部 担当 井上 TEL 050-3664-9519

【お客さまからのお問い合わせ】お問い合わせフォーム <https://www.proterial.com/contact/>

■プロテリアルについて

PROTERIAL

私たちの社名プロテリアルは、“プロ”+“マテリアル”から作られています。“プロ”は私たちの Values(大切にすべき価値観)の構成要素であるプロフェッショナル、プログレッシブ、プロアクティブを表しており、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。“マテリアル”はこれら 3 つのプロに支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

私たちはこの想いに根ざした製品とサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けることを約束します。

■株式会社プロテリアル 会社概要

創 業：1910 年 6 月（現在の法人の登記上の設立は 2021 年 4 月）

本 社：〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目 6 番 36 号 豊洲プライムスクエア

資 本 金：1,000 百万円（2026 年 7 月 1 日現在）

代 表 者：代表取締役 会長 兼 社長 CEO（最高経営責任者）

Sean M. Stack（シヨン・スタック）

売上収益：7,473 億円（2026 年 3 月期）

沿 革：1910 年 戸畑鋳物株式会社として創業

1937 年 株式会社日立製作所と合併

1956 年 日立金属工業株式会社として分立

2023 年 商号を日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに変更

プロテリアルは、国連グローバル・コンパクトに参加しており、責任あるビジネスに対する原則に基づくアプローチを遵守しています。